

令和8年度 日本赤十字社活動資金 の募集について（お願い）

毎年、皆さまからのあたたかい御支援により、日本赤十字社の事業を順調に進めさせていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

皆さまからいただく活動資金は、以下の「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいております。

○発災時

医療救護、血液製剤の供給、こころのケア など

○平時

災害救護訓練、救援物資の備蓄、ボランティアの育成、地域防災力の向上、こどもたちへの防災教育 など

いただいた活動資金は、岡崎市地区から愛知県支部を通じて日本赤十字社の本社へ送られ、上記の活動に充てられるとともに、一部が愛知県支部を通じて岡崎市地区に交付金として還元されます。

岡崎市地区では、この交付金の一部を活用し、町内会が行う防災活動や災害救護活動にお役立ていただくため、各学区総代会に対しまして、毎年1月下旬に「協力金」をお支払いしております。

今年度も、日本赤十字社の活動に御理解をいただき、活動資金の募集に御支援くださいますようお願い申し上げます。

日本赤十字社 愛知県支部
岡崎市地区長 内田 康宏

回覧

学区の皆様

令和8年6月吉日

岡崎市立美合小学校
校長 鈴木 正統

第1回銀杏の会（仮称）の開催について（案内）

麦秋の候 学区の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は地域および美合小学校の諸活動についてご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年度より、岡崎市では全ての小学校でコミュニティスクールを導入し、学校運営協議会を設置することになりました。コミュニティスクールとは、今まで以上に地域・家庭・学校が連携・協働して子供の教育に関わり、共に子供たちを育て、よりよい学校づくりを行う担い手であるという風土をつくることをねらいとした制度です。本校でも4月16日に第1回学校運営協議会を開き、委員の方（本年度は、総代会長、社教委員長、PTA副会長、主任児童委員、学校関係者）に校長の学校運営について承認していただきました。学校運営協議会は合意形成を図る場ではありますが、学区の皆様の考えを取り入れながら、様々なことについて話し合っていきたいと考えています。

今後の美合小の最大の課題は、部活動の地域展開です。令和11年度には、学校から部活動を切り離して、地域で運営することが決まっています。何ができるのか、どのように運営していくのか、費用はどうするのかなど、幅広く学区の皆様からご意見をいただきたく、銀杏の会（仮称）を下記のように予定しました。

ご多用とは思いますが、ぜひ多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和8年6月14日（日）11時～12時
南舎昇降口から入りコミュニティルームへお越しくください。
- 2 場 所 美合小学校 コミュニティルーム（南舎1階つきあたり）
- 3 参加者 美合学区にお住まいの方
（年齢制限はありません。小中学生、高校生、大学生も歓迎します。）
- 4 内 容 部活動の地域展開について
銀杏の会（仮称）の名称について

※参加いただける方は、右の二次元コードからお申し込みください。

※室内用スリッパをご持参ください。保護者の方はPTA来校者カードをお持ちください。



（連絡先：美合小学校 教頭 市川岸江 Tel 51-1020）

美合小学校の部活動の今後について

年度		R8	R9	R10	R11	R12	R13
小学校各種大会		現状のまま実施	参加方法・実施方法を検討の上、実施		学校からの参加なし		
部活動練習		平日2日 休日1日 休日は年間15日程度	平日2日制、休日はなし 6・9月のみ休日練習可		なし		
R8 入学	来年度1年	入学：1年生	2年生	3年生	地域・学校協働活動・放課後子供教室等の活動		
R7 入学	現1年	2年生	3年生	4年生部活動	少年団・クラブチーム		中ブロック部活動第3段階
R6 入学	現2年	3年生	4年生部活動	5年生部活動		中ブロック部活動第3段階	中ブロック部活動第3段階
R5 入学	現3年	4年生部活動	5年生部活動	6年生部活動	中ブロック部活動第3段階	中ブロック部活動第3段階	中ブロック部活動第3段階
R4 入学	現4年	5年生部活動	6年生部活動		中ブロック部活動第3段階	中ブロック部活動第3段階	
R3 入学	現5年	6年生部活動			中ブロック部活動第3段階		
R2 入学	現6年	中ブロック部活動（第2）					
R1 入学	現中1						
部活動 年度		R8	R9	R10	R11	R12	R13
陸上部				地域と共同	クラブチーム 中学校ブロック部活動に参加可能なら		
バスケットボール部男子				地域と共同	学区、市内クラブチーム		
バスケットボール部女子				地域と共同	学区、市内クラブチーム		
合奏部		新6年8人 新5年5人 新4年5人は必要	学芸会にて終了	なし	なし 中学校ブロック部活動に参加可能なら		
ホタル部				地域と共同	地域、河合中学校と連携し、形を変えて存続の道を探る		

- ◆中ブロック部活動第1段階：子供の地域移行（ブロック部活動への段階的な移行）
- 第2段階：活動の地域移行（文化部は段階的な社会文化活動へ。学校施設開放型 公共施設開放型）
- 第3段階：運営の地域移行（外部委託業者の選定）
- ◆小学校についても、R11の地域移行に向けて検討を重ねています。今後、地域の方とも話し合いをもつ予定です。

岡崎市から大切なお知らせ

窓口受付 電話受付

の時間を変更します

令和8年7月1日(水)から

9:00~16:00

(現行 8:30~17:15)

対象
施設

- 市役所本庁舎
- 各支所 ●保健所
- 消防本部(消防署所を含む。)

窓口・電話受付時間を短縮することで、職員が事務の効率化やデジタル化などの業務改善に取り組む時間を確保し、みなさまへのサービスの向上を目指します。

証明書コンビニ交付サービス

コンビニなどで各種証明書
(住民票・印鑑・戸籍・戸籍の
附票)を取得できます。



電子申請

インターネットを利用して申
請・届出ができる手続です。
※詳細は各手続の業務主管
課へお問い合わせください。



共に歩み、次代の 岡崎を支える



教育随想

岡崎市副市長
鈴木 晃 氏

桜の便りとともに、新しい年度が始まりました。真新しいランドセルや、少し大きめの制服に身を包んだ子どもたちの姿を目にするたび、教室で温かく迎えてくださる先生方、そして地域で子どもたちを見守る保護者や住民の皆様の存在が、いかにありがたいものかとしみじみと感じ入る季節です。

本市は今年、市制施行百十周年、旧額田町との合併二十周年という大きな節目を迎えました。日々市政に携わる中で、私が実感するのは、岡崎市の根底には常に「人を育てる」という揺るぎない精神が流れているということだと思います。歴史と豊かな自然に恵まれたこの地には、先人が繋いできた「学び」の足跡と、地域全体で子どもたちを育む温かい風土が確かに息づいています。

正解のない問いに向き合う、これからの時代、子どもたちが未来を切り拓くには、自ら考え、他者と対話



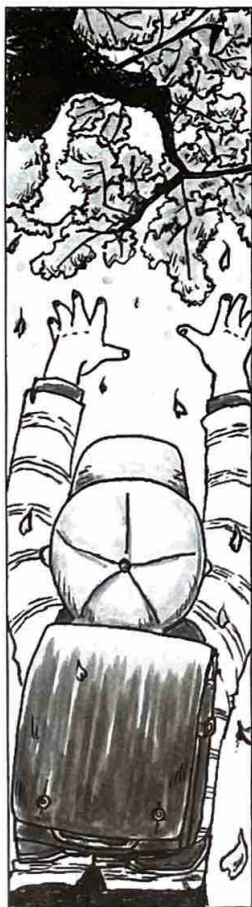
令和8年4月1日

4月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
岡崎市副市長 鈴木 晃 氏	
この人に聞く……………	2
表具師 大高 一晃 氏	
羅針盤……………	2
南中学校 校長 岡 秀之	
ふれあい……………	3
藤川小学校 教諭 水鳥 綾	
特集……………	4
令和8年度 岡崎の教育	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
芭蕉句碑の前で (昭和5年)	
この本を……………	8



する力が欠かせません。一人ひとりに寄り添う教育現場の営みは、まさに岡崎の未来の「種」をまき、大きな木へと育てる尊いお仕事です。同時に、子どもたちの成長は家庭や地域との関わりがあつてこそ実現します。学校、家庭、地域が手を取り合い、「社会総がかり」で教育を進めることが、今後さらに重要になってまいります。

一方で、複雑化する教育現場を支える先生方の負担が大きいかとも、私は重く受け止めております。先生方がやりがいを感じ、心身ともに安心して子どもたちと向き合える環境を整えることこそが、行政の役割で

す。現場の熱意がしっかりと形になるよう、全力で下支えしていく所存です。

人を育てることは、まちを育てることでもあります。「住んで快適・楽しいまち」、そんな「夢ある新しい岡崎」の実現は、学校、家庭、地域、行政が共に歩む教育の基盤から始まります。この節目の年を未来への確かな一歩とするため、現場の声を大切に職務に励んでまいります。新しい一年が、子どもたちと本市の教育に関わるすべての人にとって実り多きものとなることを、心より願っております。

(すずき あきら)



日本文化を大切にする心

表具師 大高 一晃 氏

岡崎の地で九十年以上続く表具店の三代目。でんぶんのりをういた伝統的な技法に信念をもち、数多くの価値ある作品を修復してきた。表具師として働き続ける思いについて、大高さんに話を伺った。

—表具師はどのような仕事ですか—
表具とは、紙や布を張って仕立てられた掛軸やふすま、額装などのことです。表具師は、和紙とのりを使い、表具を美しく仕立てたり修復したりします。古いふすまは、時間が経つと、しみや破損が生じます。ある寺から依頼を受け、十二枚のふすまを修復した際には、熱を与えてでんぶんのりを溶かし、水で湿らせながら破損した箇所を一枚ずつはがして丁寧に直しました。完成には二年

かかりました。価値ある作品に直に触れ、時代を超えて自らの手で再生できることに魅力を感じ、表具師として四十三年間働いています。

—表具師として働く中で、課題と感じることは何ですか—

生活様式が変わり、和室のない家が増える中で、表具師の仕事は年々少なくなっています。昔は当たり前であった掛軸やふすま、障子が、日常の風景から静かに姿を消しつつあります。日本の伝統文化である表具を、日本でもっと使わないと、どんどん廃れてしまいます。私は、より多くの人々に伝統的な日本文化について知ってもらうために、展覧会に掛軸や屏風などを出展したり、会場であらゆる実演をしたりしています。また、おかざき匠の会に入会し、多様な業種の職人や作家と交流すること、つながりを広げています。岡崎で暮らす人々が、日本の伝統文化の豊かさに改めて気付き、日常の中に掛軸やふすま、障子を少しでも取り入れてほしいと思っています。

—仕事をやる上で大切にしていることはありますか—

今ある作品を数百年先も守り続けるために、伝統的な技法を大切にすることです。現在、価格を抑えるため、作品の貼り付けに化学薬品を使用する店が増えていますが、化学薬品は再度修復するときに作品を傷つけてしまうことがあります。そのた

め、私はでんぶんのりを使うことに信念をもち、昔と何一つ変わらない技法で作品を修復しています。でんぶんのりをういた修復には千年以上の歴史があり、作品がどのように変化していくのか分かっていません。間違いなく百年後も二百年後も修復することができません。依頼を受けた貴重な作品を守り、未来の職人が作業しやすいように修復しています。

—今後の展望を聞かせてください—

昔ながらの技法を守り、歴史が息づく岡崎の街に住む人々に日本文化のよさに触れる機会をつくりたいと思っています。以前、市内の小学校で、書き初め作品の表装の仕方について指導しました。自分の作品を表装するまでが作品作りであり、それにより、自分の作品を大切にすることが生まれます。書道の授業だけでなく、表装の文化に触れる機会を設けることで、子供たちの伝統的な日本文化を大切にすることを育てたいと考えています。

表具は、日本の大切な文化です。伝統的な技法を通して日本文化の魅力を地域に広めたいと思います。



氏名

おおたか かずあき

生年月日

昭和三十九年

七月二十八日

住所

岡崎市康生通西

学びの姿勢

南中学校

校長 岡 秀之

教師は、子供からさまざまな質問を受ける。授業に関すること、人間関係に関すること、進路選択に関すること等々である。中学生ともなれば、時に返答に困るような深い質問もある。私には、「なぜ勉強をするのか」という質問に、即答できなかった苦い経験がある。

教育基本法第九条に示されているように、教員は絶えず研究と修養に励まなければならない。そのために校内外で様々な研修会が行われているわけだが、日々の授業や子供との関わりからでも、学ぶことは多い。

発言の多い授業において、挙手をしていない子供の評価はいかほどか。では、挙手はしないが、ノートに自分の考えを記している子供の評価はいかほどか。挙手が目的の授業であれば、挙手をしていない子供の評価は難しい。けれども、挙手ができない子供





アゲハチョウがつかないでくれた

藤川小学校

教諭 水鳥 綾

「私にも幼虫を分けてください。」
四年生のAさんが私の教室へやってきた。二年前に担任した児童だ。

今年度、三年生の担任になり、アゲハチョウの卵を校庭の木から集めては、教室で育てた。たくさん孵化したので、家で虫を飼育している四年生の児童に何匹か家で育ててもらうことになった。Aさんが来たのは、児童に幼虫を渡した翌日だった。

Aさんは生き物が好きだ。生活科の学習でダンゴムシを育てたときは、毎日欠かさず観察を続けた。そして、なかなか見ることのできない脱皮の瞬間に立ち会うことができた。

脱皮した翌日、朝一番にAさんが、「朝、脱皮したんだよ。みんなに見せなかったけれど、すぐに皮が見えなくなっちゃったんだよ。」と目を輝かせながら話してくれた。

ダンゴムシを自然に帰すときにはとても残念がり、

「帰すの寂しいから嫌だな。」

うつむきながらつぶやいた。

「きつと大切にお世話をしてくれたAさんが大好きだから、自然に帰るのは寂しいだろうね。」

と声をかけて、一緒に花壇へ放した、Aさんとの懐かしい思い出がふとよみがえってきた。

私のところに来たAさんに、「クラスのみんなまで卵からかえした幼虫だから、大切に育てられますか。」と聞くと、

「虫かごもあるし、お母さんにも育ててもいいか聞いてきた。大切に育てるから、ください。」

Aさんは真剣な表情で大切に育てることを約束してくれた。二匹の小さな幼虫を渡すと、一瞬で笑顔になり、「大切に育てます。」

と言って、ケースの中の幼虫をじっと見つめながら、大切そうに教室へ持ち帰った。

しばらくして、Aさんに、「最近どう。大きくなった。」と聞くと

「餌をいっぱい食べるからすごく大きくなったよ。ふんもすごい。」

とうれしそうに幼虫の成長を語ってくれた。それから、校内で会うたびに、幼虫の様子を報告し合った。

「先生のクラスの幼虫はほとんどさなぎになったよ。」

「私の幼虫は大きいのがさなぎになったよ。小さいのも多分、今日にはなると思うな。」

報告のたびに幼虫の小さな変化を、必ず笑顔で教えてくれた。

そして、私のクラスのアゲハチョウが成虫になりだした頃、Aさんが手紙を持ってきてくれた。

「先生、これあげます。」

それだけ言うと、Aさんは自分の教室へさつと戻ってしまった。手紙には、Aさんの幼虫が二匹とも無事に成長して飛び立ったことが、絵と一緒に書かれていた。私はAさんに返事を書いた。

「Aさんに幼虫を育ててもらえてよかったと思っています。ありがとうございます。」

言葉で気持ちを伝えてくれたAさんに、私も言葉で伝えたいと思い、Aさんに手紙を渡した。

「先生、手紙ありがとう。」
お礼を言いに来たAさんのはにかんだ表情が今でも忘れられない。



と、考えることを避けたがる子供との評価は同じではないはずだ。子供の多様化によって、指導方法が多岐にわたっている現在だからこそ、個別最適な学びが求められる。その観点から考えると、発言も書くことも表現方法の一つだといえる。

また、ハイリー・センシティブ・チャイルドと呼ばれる繊細な子供がいる。中には「顔は笑っているのに、心で泣いている」といった子供もいて、教師の経験だけでは計り知れない。子供の本心に迫るためには、相手を多面的に捉えることが大切だと言えらるのではないだろうか。

私が教師になった頃と比べて、ずいぶん子供が変わったように思う。であるならば、学校の授業も子供との関わり方も変わっていくのは当然であろう。そのためには教師が常にアップデートしていく必要がある。

さらには、自分にはない価値観を学び、より多面的な捉え方をしている必要がある。学びの姿勢が変われば、どこからでも、何からでも学ぶことができる。

「なぜ勉強をするのか」という質問に対して、後日、子供に「人生を豊かにするため」と答えた。理科の学びも、人間関係づくりも、進路選択も全てが子供の人生につながっていると考えたからだ。子供から学んだ教師としての根幹の部分である。

令和8年度 岡崎の教育



「私がつらかった時、先生は豆粒くらい小さな字で日記が真っ赤になるほど返事を書いてくださいましたね。一文一文に先生の優しさが詰まっていました。」

卒業式、舞台で振り返り、職員席に向かつて涙を浮かべながら声を震わせる生徒。答辞の言葉に、会場がじんわり温かくなる。

岡崎の教育は、子供の幸せを願う教師の温かな心によって創られてきた。それこそが、岡崎の教育の不易であり、本質でもある。

岡崎の教育を支えるもの

【伝統】昭和三十二年、戦後の復興期に、当時の市長と教育長は理科教育の充実を願い、五年間で総額六百万円の科学教育振興費を投じる決断をした。当時の教員の初任給が約八千円だったことを考えると、強い決意が伺われる。

この取組を契機に本市の理科教育は大きく花開き、七十二回を数える理科作品展は、今も子供たちの探究心を育み続けている。また、「造形おかざきつ子展」をはじめ、三世代が学びと感動を共有する教育活動が半世紀以上受け継がれてきた。

こうした先人たちの営みの積層こそが、子供の成長を支える誇るべき岡崎の伝統である。

【環境】本市は常に最先端の「環境」を整えてきた。いち早くタブレット端末を導入し、電子黒板は全教室に配備しつつある。世界トップレベルの高速ネットワーク「サイネット」

もある。これらのデジタル学習基盤は、主体的な学びを実現する大きな強みである。

また「学校が子供に適応する」という理念に基づきF組設置を進め、多様な背景をもつ子供が安心して過ごせるように市独自で支援員を配置している。「理念の浸透」を中心に据えた施策展開は全国から注目を集めるものとなっている。本市の「環境」は、子供を一番に考える理念の表れである。

【人づくり】岡崎の教育の魅力を高めるためには、教員の資質・能力の向上は欠かせない。「専門性・人間性・指導性」の一層の向上を目指して教員育成指標に基づく体系的な研修を実施している。

中核市である本市は研修権をもっており、伝統と風土を生かした研修を実施できることが最大の強みである。教科・領域指導員による学校訪問や、教職員同士が支え合う風土を生かしたOJTを推進している。また、夏季研修では、教員が主体的に研修を選択し、実践に直結する学びを深めている。

教育の今日的課題

今、社会は不確実性を増し、急速に変化している。子供たちは予測困難な時代を生きることになる。そのためには、変化を恐れるのではなく、変化を前向きに受けとめ、しなやかに自分の人生を舵取りできる力が求められる。

こうした時代の要請を受け、国で

は次期学習指導要領に向けた議論が白熱している。そこでは、改訂議論を貫く三つの方向性が示されている。

①「主体的・対話的で深い学び」の実装

②多様性の包摂

③実現可能性の確保

これらは、現行の学習指導要領を現場に真に浸透させていくためのものと理解することができる。

岡崎の教育が目指すもの

【多様性の包摂】単に少数派を受け入れるということではない。互いの違いを尊重し、対等に育ち合うことである。一人ひとりの歩幅で学び、仲間と関わり、違いから学び合う。その往還の中で、子どもの意欲は高まり、可能性は花開くはずである。そして、教師は本気で伴走する者として、子供の声に耳を澄まし、真正面から向き合う。こうした時間は、ときに効率を犠牲にするかもしれない。しかし、対話と合意形成に時間をかける教育こそ、次の時代を生きる市民を育てることにつながると信じている。

【リアルな学びをデジタルが支える】義務教育段階において、子供たちにとって大切なのは、画面の向こうではなく、実物と実体験、そして子供同士のより直接的な関わりである。デジタルは、多様な子供たちを前提に、そのリアルを広げ、深め、確かにするためにこそ使うものでな

ければならない。

本市が重んじるのは「リアルかデジタルか」の二者択一ではなく、リアルを中心に据えつつ、デジタルをいかに効果的に活用するかという設計である。そこには、教師の温かさ

と情熱、指導力は欠かせない。

【制度より理念】未来は、誰にも予測できない。しかし、変化の只中にあっても、制度をつくることを目的にしてしまってはいけない。制度はあくまで手段であり、忘れてはならないのは理念や哲学である。

教育のあらゆる営みは、「何のために、それを行うのか」という本質への問いに導かれるものである。

指導の重点

教育の目的は、教育基本法第一条にある「人格の完成」を目指すことにある。そして、学校教育に求められているものは、子供が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きていくための基礎となる資質・能力を育成すること、即ち、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図ることである。その原点には教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならぬ。

「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を

築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。特に指導の重点を次の三点とする。

○学が楽しさを実感し、深く考え、

学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進

○命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進

○体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

令和八年度の重点努力目標

①「学び方改革」

子供に学びを委ねる授業づくりを進めるとともに、「リアルな学びをデジタルで支える」ことの具現化を図る。

・チーム学習を核とした授業改善を更に進める。

・子供に学びを委ねる授業における、ファシリテーターとしての教師の具体的な支援を明らかにする。

・学習指導と生徒指導の一体化を推進する。

・デジタル学習基盤を効果的に活用する授業のあり方を探る。

②「子供支援改革」

発達支持的生徒指導の考えやF組の理念をすべての教師に浸透させ、魅力ある学校づくりを推進する。

・F組担任会や支援員会を充実させ、F組やS組の更なる効果的運用を推進する。

・いのちの教育を推進し、温かい学校づくりをする。

・確かな子供理解のために、心理士やSSWなどの専門家と効果的に連携する。

・ストップ・ザ・いじめアクションプランのPDCAサイクルを確実に実施する。

・特別な支援が必要な児童生徒や外国人児童生徒への理解を深め、支援・指導を充実させる。

③「部活動改革」

部活動の教育的意義を継承しながら、地域展開を次の段階へ進め、安全で持続可能な部活動環境を整える。

・現職の教職員の兼職兼業による部活動指導員の確保を進める。

・地域ブロック部活動の平日の活動を可能にするための取組を強化する。

・全小学校に設置された学校運営協議会において、各校の部活動の今後のあり方について検討する。

④「新しい時代の学校デザイン2.0」

改革を通して、業務量の適切な管理を通して、教育の質の向上と持続可能な学校運営体制の構築を図る。

・研修を更に充実させ、高度専門職としての資質能力の向上を図る。

・四つのマネジメントの視点(組織、カリキュラム、タスク、タイム)で学校運営を見直し、時間外在校等時間の縮減を図りながら教育効果を最大化できるようにする。

子供の幸せを願い、ひたむきに努力を積み重ねる教師の情熱こそが、岡崎の教育の源泉である。令和八年度も、伝統を継承しつつ、情熱をもって変化に挑み続けることで、新たな岡崎の教育を創っていく。



●教育関係機関だより

◆岡崎市総合学習センター

岡崎市上地三丁目12-1

(☎五四一—二一五)

岡崎市総合学習センターは、一般利用できる体育室や多目的ホール、小ホール等を備えた施設である。同じ建物の中に、本市の教職員が利用できる教育研究所や、ハートピア岡崎(上地)がある。

○教育研究所

(☎八三—七七〇)

岡崎市の教職員のための研究施設である。学校が教育アドバイザーや学校運営アドバイザーに相談したり、さまざまな教育関係資料を活用したりすることができる。

・教育図書室

八千三百冊以上の教育図書を所蔵している。また、学習指導案の閲覧、図書資料の貸出し、学芸会等のDVD資料の視聴などができる。

◆教育相談センター

岡崎市竜美北二丁目6-1

教育相談センターには、三つの部門(教育相談部門、通所・支援部門、福祉的支援部門)が設けられている。

教育相談部門には「そよかぜ相談室」、通所・支援部門

には長期欠席児童生徒校外フリースクール「ハートピア岡崎(竜美・上地)」がある。福祉的支援部門には、福祉

や教育に精通したスクール

ソーシャルワーカーが配置さ

れている。スクールソーシャル

ワーカーは、子供が置かれ

ている環境を抱えている課題

を踏まえ、関係機関との連

携・調整や支援を行ってい

る。

○そよかぜ相談室

(☎七—三二〇)

就学支援・特別支援教育、

いじめや長期欠席等に関する

支援をしている。相談をする

場合は、電話予約後、臨床心

理士や相談員と相談する。ま

た発達障がい専門家(大学

教授等)が巡回相談を実施し

ている。

○ハートピア岡崎

・竜美(☎七—三二〇七)

・上地(☎七—三二〇二)

長期欠席や、その傾向のあ

る子供が学校への復帰や社会的自立を目指して通所し、指導員やハートピア専属の臨床心理士による支援を受ける。通所については、学校を通して手続きを進める。



「ハートピア岡崎(竜美・上地)」



◆子ども・若者総合相談センター(わかサポ)

岡崎市十王町二丁目9

(☎六四—六六五)

子ども・若者総合相談センターは、不登校・ひきこもり・ニートなど、社会生活を営むうえでの困難を抱える若者の支援をしている。相談をする場合は、電話予約後、相談員との相談を行う。

◆日本語初期指導教室「希望」

岡崎市戸崎町野畔8-1

本市内に編入学、転入学して

くる日本語教育を必要とする

児童生徒は増加傾向にある。

それに伴い、小学生(四

・六年生)・中学生を対象と

した日本語初期指導教室「希

望」を開設している。

プレクラスでは、学校生活

になかなか馴染めない日本語指導が必要な児童生徒が安心して日本の学校に通うことができるように、初期段階の日本語の習得や日本文化への適応を図ることを目指してい



「子ども・若者総合相談センター」



●表彰

◆第75回全国小・中学校作文コンクール

○中学校の部

文部科学大臣賞

竜海中 都築 紗奈

◆第71回青少年読書感想文全国コンクール

○小学校低学年の部 自由

読書

毎日新聞社賞

本宿小 岡本 睦玄

◆第2回全国教室俳句コンテ

スト

みんなの俳句部門

最優秀俳句賞

矢作北中 吉永 泰翔

◆第46回全国中学校スケート

大会 フィギュアスケート

シヨートプログラム

出場 東海中 丸山 喜生

◆二〇二五年度愛知県中学生

バスケットボール新人大会

○男子の部

1位 岡崎葵城

◆第32回新聞切り抜き作品

コンクール

○小学生の部

中日大賞

三島小 江間 桜子

優秀賞

三島小 伊藤 美香

◆第3回あいち食農教育表彰

最優秀賞(教育委員会賞)

下山小

◆令和7年度「家庭の日」

県民運動啓発ポスター

○生徒の部

入選

矢作北中 穴井陽菜乃

◆第53回人権を理解する作品

コンクール

○標語の部

優秀賞

男川小 杉浦 壮汰



●期待の新任教員

令和八年度岡崎市小中学校
新規採用教員は、一一六名
(養護教諭・栄養教諭を含む)
である。

なお、新任教員の学校への
配置は、次のとおりである。

- 梅園小学校 兜森明日心
根石小学校 丹羽 鴻輝
根石小学校 廣谷 早耶
根石小学校 岩永 美空
根石小学校 新家 功千
根石小学校 佐藤 琉成
根石小学校 小林 真優
根石小学校 小田中なごみ
根石小学校 産屋敷尚哉
根石小学校 細野 隼杜
根石小学校 松山 志帆
根石小学校 井上 由唯
根石小学校 杉浦 博子
根石小学校 小西 春輝
根石小学校 梶川 珠里
根石小学校 高木 早紀
根石小学校 渡邊 元輝
根石小学校 米津 知彦
根石小学校 田中 真緒
根石小学校 鬼頭 杏奈
根石小学校 畔柳 優
根石小学校 種子田未來
根石小学校 大村 歩由
根石小学校 丹羽 菜月
根石小学校 宇都木秀太
根石小学校 堀 夢女
根石小学校 井田小学校

- 愛宕小学校 矢野 大輔
福岡小学校 篠塚 菜有
志賀 太一
三好 桃華
石川 晴菜
梅倉 宏斗
小柳津有絵
織田 杏
佐藤 駿
酒井明日佳
榎原 大司
福島 愛子
玉井 忍
鳥居 由雅
山田 梨央
鈴木ひび喜
土井 由香
井下 翔太
小川 遥奈
早川 青空
菅井 勇斗
高木 美貴
鈴木翔汰朗
切山 輝
辻 空
岩月 涉
山口 祐輝
馬路 陽向
尾関 玲奈
伊藤 優希
前田 悠晴
石黒 愛奈
菅野 結衣
林 紗映香
橋本 実海
岡田 征也
今泉 公貴
六ツ美南部小学校
城南小学校
上地小学校
小豆坂小学校
北野小学校
六ツ美西部小学校
豊富小学校
夏山小学校
甲山中学校
美川中学校
南中学校
竜海中学校
葵中学校
城北中学校
福岡中学校
東海中学校
河合中学校
常磐中学校
岩津中学校
矢作中学校

- 杉原 悠生
山本 歌鈴
森田 凌矢
佐藤亜実奈
榎本 彩菜
齊藤 侑里
平野 翔大
大谷フコネ
曾田 雄太
串田 宗駿
石川 京華
春日井朋美
中郷 柚花
戸松 亮太
酒井日菜乃
鶴田麻衣子
牧野 優輝
細井 美希
小澤 秀斗
河野 峰荷
田中麻希子
北川明日香
日野 鈴蘭
古沢 萌乃
三浦 幹太
古間 莉緒
高柳 勇佑
五島ころ
柘植 愛花
服部 夏実
川崎壮一朗
加藤 優希
平尾 遼太
権田 大輔
那波 憩
塚谷 郁
牧原 和也

- 矢作中学校
六ツ美中学校
矢作北中学校
新香山中学校
竜南中学校
北中学校
六ツ美北中学校
額田中学校
翔南中学校
男川小学校
緑丘小学校
羽根小学校
三島小学校
井田小学校
細川小学校
大樹寺小学校
大門小学校
小豆坂小学校
北野小学校
石井 成和
蓮尾 和行
水谷友貴奈
横山七々歩
細井 優太
安藤 千夏
岩口 琳音
小笠原宏紀
近藤 綾香
大塚 遥平
大西 杏樹
川副 友暉
弓部 晴香
空谷 楓
稲吉 真那
宮崎 千聡
平沼 桃花
中田 葉音
牧原 歩美
井畑 皓
門内 颯杜
永田愛友奈
水谷 駿介
内田 野愛
佐野 夢斗
令八年度の新任事務職員
は五名で、配置は次のとおり
である。

●期待の市任期付教員

教職員の相談窓口
【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等
岡崎市教職員相談ダイヤル 0564-64-3322
あいちこころのサポート相談(SNS) 右QRコード
愛知県総合教育センター教育相談 0564-83-9743
あいちこころのホットライン365 052-951-2881
愛知いのちの電話 052-931-4343
相談受付日時 火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30 月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00 月曜日～金曜日 9:00～17:00 年中無休 9:00～20:30 年中無休 24時間
あいちこころのサポート相談(SNS) LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan

・題 字 教育長 安藤直哉
 ・タイトルバック 竜南中 浅井有紀
 ・各タイトル 六ツ美北部小 細井雄介
 ・カッター 翔南中 實松理沙

芭蕉句碑の前で (昭和5年)

写真提供：藤川小学校 杉浦 彰 氏

写真は、藤川宿にある芭蕉句碑の前で、藤川尋常小学校の児童を撮ったものである。学校が、昔から藤川宿とのつながりを大切にしてきたことが見て取れる一枚である。藤川小学校では、総合的な学習の時間を通して、まちづくり協議会の方々とともに、藤川宿の保存と町の発展に携わっている。そして、平成二十三年度の「むらさき麦まつり」より、六年生が学びを披露する場として、芭蕉句碑をはじめ七か所で、地域の遺構を観光客に紹介している。地域の方からふるさとの魅力について学び、発信することで、子供たちは地域貢献を実感する。学校は、地域との連携を通して、子供たちの郷土愛を育んでいく。



扉の向こう側には、新学年での生活。「おはようございます。」と元気よく扉を開く子がいれば、緊張した面持ちで、おそろそる開く子もいる。胸がどきどきするという感情は、新しい一年への期待の表れではないだろうか。子供たちの期待に答えられるような教師でありたいと銘肝し、今年度もスタートラインに立つ。

ホッと と 卯目



▲新しい出会いの瞬間を待つ教室 (城北中)

報告を重ねるAの表情を想像し、ほほえましく思う。生き物を大切に思う気持ちと共に、教師との関係も温かく深まっていったのであろう。理想の学級やより良い子供との関わり方を目指し奮闘する一年が始まる。ただ、子供にとってはいつまでも先生である。この先の未来につながる一年としていきたい。

突き詰めてきた伝統的な表装の技能。和紙とでんぶんのりを用いた匠の業で、数多くの価値ある作品を再生し、未来につないでいる。「伝統的な技法で作品を守り、日本文化の魅力を地域に広めたい」と願う大高さん。真剣な表情で表具と向き合い、今日も日本文化の魅力を地域に発信している。



生成AIで
世界は
こう変わる

*生成AIで世界はこう変わる 今井 翔太
SBクリエイティブ ￥900

心に残った一文

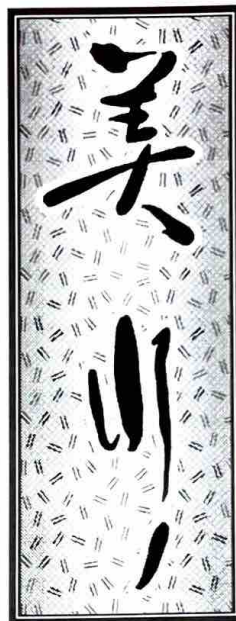
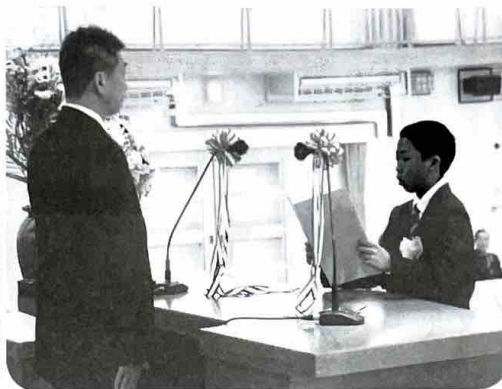
恐れているのはこの機械の知能が、人間の想像のはるか外にある脅威を持ち込んでくるという未来です。

さまざまな分野において、爆発的な勢いで生成AIの利用が全世界的に進む。私たちの生活は、もはや生成AIとは不可分なものとなった。

生成AIの教育利用においては、子供が答えのみを求め、思考を放棄する危険性が議論されることが多い。しかし、教育が生成AIから距離を置くことは、現実社会からの逃避でしかない。私たち教師は、目の前の世界で生きていく子供たちを、何とかしなくてはならないのだ。

生成AIを使いこなす側であり続ける子供を育て、未来の教室を豊かにするために、教師が学ぶことはまだまだ多い。

- * 九相図をよむ 山本 聡美 ￥1,740
角川ソフィア文庫
 - * 動物のひみつ アシュリー・ウォード ￥2,000
ダイヤモンド社
 - * イスラムの世界史 宮田 律 ￥1,950
中央公論新社
- 形埜小学校 内田 雅之



発行
岡崎市立美川中学校



「共生」を実現した温かな学校に

校長 石原昌仁

一五八名の新入生を迎え、全校五一一名で令和八年度がスタートしました。

入学式では、新入生代表生徒が「新しい仲間とともに努力し、助け合い、先輩や先生方からのアドバイスを大切に成長していきたい」と中学校生活への意気込みを力強く語ってくれました。三年生代表生徒からは「僕たち一、三年生がそばにいます」「新しい出会いは皆さんの支えとなります」と優しさあふれるメッセージが送られました。入学式の凜とした空気の中にも温かな空気が漂う素敵な新年度のスタートとなりました。入学式の校長式辞の抜粋を掲載します。

私は、皆さんに中学校生活を通して「共生」を実現した人に育ってほしいと思います。

共生とは、互いの違いを認め合い、尊重しながら、共によりよい関係や未来をつくっていくことです。人は誰一人として同じではありません。得意なこと、苦手なことも、考え方も感じ方も、歩んできた道のりも違います。

その違いは、ときにすれ違いや誤解を生むこともあるでしょう。しかし、違いがあるからこそ学び合い、補い合う中で、新しい価値を生み出すことができます。違いを受け止め、相手を理解し歩み寄ろうとする姿勢こそが、共生の第一歩です。

また、共生は学校の中だけのことでなく、家族や地域の方々、そして社会全体との関わりの中で、常に必要な概念です。自分の行動を客観的に捉え、よりよい社会をつくる一員として行動できる人へと成長していくってほしいと思います。皆さん一人一人の小さな思いやりや行動が、学校を、地域を、そして未来を変えていく力になります。

本年度から、通常学級において「チーム担任制」を実施しています。これも「共生」を実現した人に育てていく一助になると考えています。そして、全教職員で一丸となって子供たちに寄り添い、温かな学校づくりに尽力して参ります。保護者の皆様、地域の方々のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました
お世話になった先生方からのメッセージ

ありがとうございました



高梨 恵梨 (甲山中へ)
二年間、大変お世話になりました。

明るい美中生の皆さんから、私の方が皆さんの元気をもらっていました。行事では、門で保護者の皆さんと挨拶をさせていただく機会が多かったですが、いつもにこやかに対応してくださり、心が温かくなりました。今後の美川中のますますの発展を願っています。

大好き美川中



鵜納麻衣子 (葵中へ)
美中生と出会い、保護者の皆様や地域の方々の温かな支えのおかげで、素敵な三年間を過ごすことができました。生徒の皆さんといっしょに行事や部活動にとことん夢中になった時間は、大切な宝物です。これからも校歌を元氣いっぱい歌ってくださいね。先生も美川中での宝物を胸に、元氣いっぱい歌います。ありがとうございました。



大切な宝物



水口 奈々 (退職)
皆さんと共に英語を学んだ授業、暑い日も寒い日もテニスに打ち込んだ部活、笑い合い助け合いながら過ごしたひまわり学級。どの日々も、どの一瞬も、大切な宝物です。本当にありがとうございました。皆さんのことを応援しています。

写真には写らない美しさがあるから

橋口 桃子 (矢作北中へ)



美川中学校で過ごした一年間は大切な思い出です。皆さんの明るさに何度も元氣をもらっていました。これからも周りの人にそのパワーを与えられる人であってほしいと思っています。本当にありがとうございました。皆さんの「これから」を応援しています。

皆さんありがとうございました

中山 翠 (額田中へ)



美川中の皆さん、昨年度は大変お世話になりました。制作を通し、皆さんの成長を間近で見せて過ごせた日々は私の宝で

す。新しい場所に踏み出すのは誰でも勇気がいります。美川中での素晴らしい出会いを力に頑張ります。皆さんのご多幸を願っています。

気づいてくれてありがとう



春原 陽一 (岩津小へ)
校務員という職務で六年間、美川中で過ごしてきた

中、生徒の皆さんからは、その都度嬉しい声掛けをもらいました。皆さんにとって、何気ない一言でも黙々と作業をしている私には、他の何にも代えがたい励まし瞬間でした。誰かへの一言の声掛け、続けてください。ね。



感謝でいっぱい



鈴木 温名 (矢作東小へ)
二年間お世話になりました。素直で元氣な美中生の皆さんや素敵な先生方のいる美川中学校で働くことができて、幸せな日々でした。初めての中学校勤務が美川中学校でとてもうれしかったです。皆さんのご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

益々の御活躍を！



杉浦 明 (矢作南小へ)
片岡陸先生の拠点校指導教員として、一年間お世話になりました。

短い時間でしたが、明るく元氣な皆さんと充実した時間を過ごすことができました。またどこかで会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

ようこそ、美川中へ
新しくみえた先生からのメッセージ

素敵な笑顔が見たい



光田 健 (矢作北中より)

今年度より、美川中学校
でお世話になります。私は
音楽の教員なので、多くの皆さんと関
わる機会があると思います。授業はも
ちろん、合唱コンクールなど、全力
で音楽に向かう姿を期待しています。
これからよろしくお願ひします。

美川の力



椎葉 豊和 (竜海中より)

今年度、美川中学校に赴
任することになりました。
新たな学校での生活は戸惑いもあり
ますが、皆さんの笑顔や元気のよい挨拶、そして会話のキャッチボールに
日々、励まされています。共に、楽し
いと思える学校を作っていきたいま
す。よろしくお願ひします。

出会いを大切に



嶋田 佑子 (南中より)

今年度から美川中でお世
話になります。新しい出会いがとて
も楽しみです。胸が弾んでいます。な
にかの縁があつて出会えたことに感

謝をし、皆さんと共に学んでいき
たいと思っております。これからよ
ろしくお願ひいたします。



日々是好日



杉浦 聖 (六名小より)

初めての中学校勤務に
なります。不安や緊張よ
りも、楽しみな気持ちで胸がいっぱ
いです。美中生にとって、実りある
学校生活になるよう、全速前進でが
んばりたいと思ひます。よろしくお
願ひします。

一期一会



川瀬 青空 (竜南中より)

今年度から美川中でお
世話になります。これか
ら、皆さんと過ごしていく日々がと
ても楽しみです。行事、部活、授業
とどれもかけがえのない日々になり
ます。皆さんにとってよりよい学校生
活が送れるように全力でサポートし
ていきます。よろしくお願ひします。

新たなスタート



吉田 鮎子 (広幡小より)

今年度から美川中学校
でお世話になります。初
めての異動で慣れていないことも多
いですが、事務職員という立場から
皆さんの学校生活がよりよいものと
なるようサポートします。よろしく
お願ひします。

気持ちのいい笑顔



神尾 美孝 (常磐中より)

皆さんのさわやかで気
持ちのいい笑顔とともに、
楽しく過ごすことができることを、
たいへんうれしく思います。毎日の
生活や、行事、授業などを通して、
皆さんとかわつていけることを楽
しみにしています。

新たな場所で



福尾 成寿 (甲山中より)

今年度から美川中学校
で、お世話になります。校
務員として二年目でまだまだ分
からないことも多くありますが、皆さん
が気持ちよく過ごせるように学校環
境を整備していきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。



一年間よろしくお願ひします



米倉 寛子

今年度、校務支援員と
して勤務させていただきます。慣れないことば
かりですが、皆さんの学校生活を少
しでも支えられたら、と思ひます。
一年間よろしくお願ひします。

Journey Before Destination
Eberhard Daimon (矢作中より)



Hello! Nice to meet you! I'm very
excited to be back at Mikawa JHS.
Let's have a great time speaking
English together. I love games,
books, and Pokemon! Please talk
to me any time!

運命の旅路
こんにちは！初めまして！美川中学校に戻ってこられてとても
嬉しいです。
一緒に英語で楽しい時間を過ごしましょう。ゲーム、本、ポケ
モンが大好きです！
いつでも話しかけてくださいね！



級訓 〜願いを込めて〜

一年二組「月」

今はまだ新月ですが、満月のように一番輝く姿を目指して、日々成長していきます。一人が輝くのではなく、月のように輝きを反射し合って、みんなが輝くクラスになります。

一年二組「たけのこ組」

「た」すけ合い、「け」じめをもち、「の」びしろを見付け、「個」性を尊重することを大切にします。そして、竹の根のように一人一人がつながり、全員の力で成長するクラスを目指します。

一年三組「ドロップス」

ドロップ(あめ)のように色や味で一粒一粒の個性があることを示しています。みんながそれぞれの色で全力でやりきること、最高にカラフルなクラスを目指します！

一年四組

「STARS〜自分から〜輝く〜」

一年四組の三十一人が、それぞれの自分らしさを大切にして、個性を認め合って生活したい。そして、全員で一つの星座を作るように協力し、毎日をもっと楽しいものにしていきます。

一年五組「パズル」

一つでも欠けてしまうと完成しないパズル。一人一人の個性を大切に、互いの気持ちを伝え合い、試行錯誤しながら、一年五組というパズルを全員で完成させていきます。

二年一組「ONE PIECE」

同じ船(2の1号)に乗り合わせた仲間とともに、学級で決めた目標に向かって、全員で突き進んでいきます。また、一つもピースが欠けないように、手を取り合いながら生活していきます。

二年二組

「2-PIZZA〜We are crating〜」

個性は具材、クラスという生地それぞれのよさをまとめます。お互いのことを尊重し合いながら、誰からも愛されるようなPIZZAを二年二組全員で作っていきます。

二年三組「オアシス」

砂漠にあるオアシスのように、二年三組全員の心が癒され、安心できる場所を作ります。そして、安心できる場で個性を発揮しながら互いに成長できるクラスを作り上げます。

二年四組「We are the stars」

私たちは主役だ！それぞれの個性を生かして力を合わせていきます。楽しいときも、大変なときもクラス全員で乗り越え、二年四組の一人一人が主役になれるクラスを目指します。

三年一組「FREESIA」

「FREESIA」という花には、「感謝」や「友情」という花言葉があります。常に「感謝」の心を忘れず、色とりどりに咲く花のように個性を大切に、「友情」あふれる一年にします。

三年一組「爆笑アイドル」

心の底から全力で笑い合い、全力で楽しめるクラス。アイドルのように一人一人が個性を認め合い、輝けるクラスを三十六人みんなで目指します。

三年二組「Good Luck」

「頑張つて」や「励まし」、別れの際には「よい人生を歩めますように」という意味があり、一年間声をかけ、助け合いながら生活し、最後に「Good Luck」と言い合える集団を目指します。

三年三組「PRISM」

三十六人の光。光は一人一人の個性を表しています。PRISMは光が集まって色になるという団結力を象徴する言葉です。個性を認め合い、支え合えるようなクラスにしていきます。

三年四組「たんぽぽ」

たんぽぽは小さな花が集まって、一つの形を作ります。個性を大切に団結し、綿毛となって飛び立った先できれいな花を咲かせられるよう、仲間と共に挑戦を重ねる一年にします。

三年五組「爆烈」

義務教育最後の一年、行事に、日々の生活に、授業に、強いエネルギーと情熱をもって取り組みます。そして、三年五組のパワーを爆烈させ、最高の一年を創り上げます。

ひまわり学級

七十二組「思いやり」

八十二組「Fight」

九十組「おにぎり」

新しい仲間を迎え、気持ちを新たにスタートしたひまわり学級。「おにぎり」のように個性ある味をもって、たくさんの人に「思いやり」の心を届け、受験や学校生活に対し、「Fight」と応援される学級を目指します。

F組「Each other」

「互いを大切に」という意味を広げて、自分を大切に、相手を大切にしようという思いを込めました。一人一人が生きて、自分らしく、一步一步前進していけるクラスを目指します。



新入生誓いの言葉

新入生代表 蝦名 翔向

色とりどりに咲く花の香りに誘われて、大きな希望を胸に抱き、本日、私たち一五八名は、伝統ある美川中学校に入学しました。

私たちは、小学校でたくさん学んで、成長してきました。その中で、当たり前前の生活と支えてくれる周りの人に感謝することを大切にしてきました。また、常に自分たちで目標をもち、努力、挑戦を続けてきました。これまでに小学校で身に付けてきたことを自信に変えて、中学校でも、よりよい自分になれるようにがんばっていききたいと思えます。

中学校には、小学校にはなかった行事や、新しく始まる学習があります。わくわくする気持ちと同時に、うまくできるだろうかという不安もあります。それでも、新しい仲間とともに努力し、助け合い、先輩や先生方からのアドバイスを大切にして、成長していきます。そして、美川中学校の生徒として誇りをもって生活していくことを、ここに誓います。

手本となる先輩を目指して

二年 本多 翔

入学式、少し大きな制服を着た一年生が僕たちの横を通り過ぎていききました。その少し緊張した表情を見たとき、



これから先輩になるんだな、二年生になったのだと実感しました。

僕が、二年生で頑張りたいことは、バランスのとれた生活です。勉強、部活動、趣味。この三つを偏らずに取り組みたいです。具体的には、勉強では高得点が取れるよう努力する。部活動では、大会に向けて技術を高める。そして趣味では気持ちを整理し、またがんばる。このバランスが成長へとつながっていくと思うので、挑戦し続けていきたいです。

僕は入学したとき、この先どうなるか不安でした。でも、先輩方が手本となる姿を見せてくれて、安心しました。そして、今は充実した毎日を送れています。次は、僕たちが先輩から頼られ、手本となる先輩になりたいです。美中祭や体育大会など行事を盛り上げ、仲間と共に学校生活を楽しくしていきます。

最後の一年に込める思い

三年 中田 希実

新しく始まる一年の期待に胸をふくらませて教室に入ると、そこには見慣れない風景が広がっていました。そのとき、私は最高学年になったことを実感しました。

これまで先輩の後ろについていた私たちも、ついに先輩に背中を見せる番になりました。あいさつや清掃など、何気ない行動の一つ一つが、これからは「学校の模範」となります。私たちが先輩方から学んだことを、これからの美川中に引き継いでいきます。こうした思いを胸に過ごしていると、最高学年であるという自覚に現実味が

わき、これまでと同じはずの窓から差し込む光はどこか輝いて見えました。泣いても笑っても、中学生でいられるのはこの一年間だけ。この一年、後悔が残らないように、勉強も、部活動も、学校行事も、日々の生活も、全力で取り組んでいきます。

表彰の記録



- 優秀選手賞 本多咲莉愛 本多 結夢 2位
- 市中学生1年生大会 2位
- 岡崎CENTRAL・ハンドボール男子
- 三河東西対抗ハンドボール選手権 1位
- 市中学生1年生大会 優勝
- 豊田市民選手権大会
- 岡崎CENTRAL・吹奏楽部
- 県アンサンブルコンテスト西三河北 金賞
- 管打八重奏 銀賞
- 打楽器三重奏 銀賞
- 金管六重奏 銀賞
- 金管七重奏 銀賞
- 金管八重奏 銀賞
- 中部日本個人・重奏コンテスト西三河北 金賞
- 管打八重奏 金賞
- 岡崎竜美・バレエボール女子
- 全三河中学東西対抗大会 3位
- 岡崎竜美・駅伝女子
- 市民駅伝競走大会中学生女子の部 4位
- 3区区間賞 柴田 和佳
- 岡崎竜美・サッカー
- 県中学校U13サッカー選手権大会岡崎大会 1位
- 岡崎ジュニアサッカーフェスティバル 3位
- 岡崎竜美・剣道男子
- 市総合剣道大会 3位
- 市選手権大会 個人2位 太田 晴己
- 岡崎EAST・柔道男子
- 市中学生柔道大会 2位
- 造形部
- 県読書感想画コンクール

令和八年度 主要行事予定

- 4月9日 新任式 始業式 入学式
- 4月18日 授業参観・PTA総会
- 5月25日 Spring CUP～9日
- 5月18日 絵をかく会
- 6月1日 中間テスト～19日
- 6月9日 三年修学旅行～3日
- 6月17日 授業参観
- 6月27日 期末テスト～19日
- 7月7日 FINAL CUP～7月12日
- 7月17日 保護者会～9日
- 8月17日 一学期終業式
- 8月27日 二学期始業式
- 9月15日 中間テスト～16日
- 10月10日 美中祭
- 10月22日 体育大会
- 10月28日 Autumn CUP～11月1日
- 11月16日 期末テスト～18日
- 11月16日 保護者会～10日
- 12月8日 長距離走大会
- 12月17日 二学期終業式
- 12月23日 三学期始業式 校内書き初め会
- 1月7日 学校公開日
- 1月12日 校内書き初め展～14日
- 2月21日 一年スキー研修～23日
- 3月5日 卒業式
- 3月9日 一、二年保護者会～11日(希望制)
- 3月10日 二年生立志の式・進路説明会
- 3月24日 修了式

- 佳作 リトラーティスト絵画コンクール 杉浦 悠菜
- 金賞 本間 琴子
- 銅賞 大浦理央奈
- 入選 鶴田 季歩 羽深 生一
- 【メディア部】
- 毎日パソコン入力コンクール冬季大会
- 第2部ローマ字 1級 高柳 光矢
- 赤い羽根コンクール・書道の部
- 市 金賞 大西 詩
- 県 佳作 大西 詩
- 人権を理解する作文コンクール岡崎地区大会
- 標語の部 佳作 安藤 愛玲
- 安藤 史沙

部活動紹介

切磋琢磨

陸上部男女 中根 文維

陸上部は、日々の練習を大切にしていきます。一人一人が自己ベストの更新を目指しているのです。いつも全力で練習に取り組んでいます。陸上は、個人競技ですが、一緒に練習をする仲間と切磋琢磨することで、自分の限界のその先を目指することができます、とても魅力ある部活動です。

仲間と共に

野球部 柴田 龍侍

僕たち野球部は、市内大会優勝という目標に向けて、日々切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。一つ一つのプレーを大切に、守備からリズムを作り、チーム亀美として一緒にがんばります。

エンジン全開、ブンブンブン！

男子ハンドボール部 松吉 優

僕たちハンド部は、仲間と楽しみ、めりはりをつけて自分たちで考えて動けるチームです。休日の練習では、リズムトレーニングを取り入れています。仲がよく温かい雰囲気自慢です。

仲間と成長

女子ハンドボール部 山本 心愛

私たちは、日々、課題に向き合い、目標達成のために足りないところを伝え合っています。夏の大会は今のチームで挑む最後の大会です。互いに声をかけ合って、もつとがんばりたいです。

目標を達成するために

女子ソフトテニス部 山本 桜

私たちは、西三大会出場を目標に掲げ、日々練習に励んでいます。全員が成長できるように、支え合ったり、真剣勝負で技能を磨き合ったりして、目標を達成できるように一生懸命、がんばり続けます。

仲間と挑むソフトテニス

男子ソフトテニス部 中根 健吾

男子ソフトテニス部は、日々の練習で技術を磨き、仲間と切磋琢磨しながら、西三河大会出場を目指しています。これからも仲間との協力を大切にし、努力を続けていきたいです。

愛されたい！

男子卓球部 村田 蒼甫

僕たち卓球部は、ときに一緒に高め合う仲間として、ときにスタメンを狙うライバルとして練習に取り組んできました。目標であるみんなから応援されるチームを目指してがんばります。

もう一步

女子卓球部 氷室 瑠愛

私たちは、常に限界からさらに「もう一步」を踏みだせるよう、日々練習しています。目標である西三大会出場を目指して、あきらめない気持ちを大切に活動していきます。

チーム一丸

男子バスケットボール部 小林 亮仁

男子バスケットボール部は、「明るく楽しいバスケット」を目指して、全員で声を

出し、明るい雰囲気練習に励んでいます。目標である西三大会出場に向かって、チーム一丸でがんばります。

仲間を大切に

女子バスケット部 夏目 心花

私たちは、「団結」という目標をもとに一回一回の練習を大切に、楽しく練習に励んでいます。学年関係なく意見を交わし、仲間の個性を認め合い、生かせるようにチーム全員でがんばります。

全力

女子バレー部 吉田 彩

私たち女子バレーボール部は、声を出すことを大切にして、粘り強く仲間と支え合いながら全力で練習に取り組んでいます。日々の積み重ねを大切に、大会で勝利を目指して全力で挑みます。

最高の演奏を仲間と

吹奏楽部 鈴木 愛子

吹奏楽部は、学年に関係なく演奏技術を高め合い、仲間と最高の演奏ができるように、日々練習に励んでいます。本気で演奏に向き合い、仲間と過ごす夏は、一生の思い出になります。

自分の作品と向き合う時間

造形部 本間 琴子

造形部は自画像や風景画、読書感想画などいろいろなテーマで、主に水彩絵の具を使用して作品を作る部活です。自分の作品と向き合い、納得いくまで描き上げることをがんばっています。

画面の先の世界へ

メディア部 吉見 花音

私たちメディア部は、それぞれの目標に向かい作品づくりに励んでいます。日々の努力と自分の思いを作品に込め、見てくれる皆さんへ、画面の先の世界を届けるために全力でがんばります。

「好き」を集めた部活

ハンドフラフト部 本間 由稀

自分の得意なことをもつと極めたいという思いをもって活動をしています。こだわりが感じられる作品を美中祭で展示できるように、仲間とアイデアを出し合って楽しく活動をしています。

「ブロック部活動」

新体制の部活で

男子バレー部 川瀬 尊琉

僕たちは、休日などの限られたブロック部活動の時間の中で、一日一日を大切に仲間と協力しながら練習に励んでいます。個人・チームの課題を克服し、大会で勝てるようがんばります。

一射入魂

アーチエリー部 竹内 南華

美川中学校では一人だけですが、土曜日に東海中学校へ練習に通っています。大会でよい成績が残せるよう、一回一回の練習に集中してがんばっています。

本気

サッカー部 田本 晴也

僕たちは、県優勝を目標に本気で挑んでいます。強い思いをもち、仲間と共に

日々努力を重ねています。チーム一丸となつて一緒にがんばっていきます。

限られた稽古の中で

違ふ学校の仲間との少ない稽古時間の中で努力を重ね、大会でよい成績が残せるよう、日々の部活動でも協力し合つてがんばっています。

良射必中

地域ブロックの弓道部は、水曜日の夜と土曜日の朝に練習を行っています。週二日という少ない練習時間を生かすために、一回一回の練習に全力で取り組んでいます。

礼を重んじる

僕たち柔道部は、心技体をモットーに、勝つことだけでなく、相手への敬意を大切にすることを心がけて日々の練習に励んでいます。これからも、感謝をしながらがんばります。

美を求めて

私たち合唱部は、美しいハーモニーを求め日々練習を積み重ね、さまざまな大会やコンクールで全力を尽くしています。部員全員が熱く全力な合唱部。皆さんにも私たちの歌声を届けたいです。

前期生徒会役員

「決意の言葉」

近藤 大靖 (会長)

僕は、生徒全員が自分たちで考え、行動する「主体性」のある学校を目指しています。そのために、何事にも中心となり活動していきます。生徒全員で支え合い、がんばっていきましょう。

柴田 和佳 (副会長)

私は、一人一人の個性や特技が発揮できる学校を創っていききたいです。そのために、美中生が活躍できる機会を増やせるよう、活動していきます。協力のほど、よろしく願います。

中山 龍星 (副会長)

僕は、この美川中を「前向きで楽しい」と思える学校にしていきたいです。そのためには、まずは生徒会役員が、何事にも全力で取り組む姿を見せ引く張っていきます。

須場 日葵 (執行役員)

私は、学校全体で支え合い、みんなが挑戦しやすい学校を創るために、協調性を高め合える学校にしたいです。そのためには、全員で協力して明るい学校にしていきたいです。

中根 丈維 (執行役員)

僕は、全校のみんなで一丸となつて、「前向き」な学校を創っていきたくいです。そのために、どんなことにも先頭に立つて行動することで、全校を引っ張っていけるよう努力します。

平田 杜朝 (執行役員)

僕は、全員が快適で過ごせるような学校を創っていきたくと思います。美中生全員の意見を取り入れることで、少しでも楽しい学校に近づけるよう、実現に向けて努力していきます。

城所 侑里 (執行役員)

私は、「今よりも笑顔あふれる学校」を目指します。そのために、私が率先してスマイルを届けていきます。大好きな美川中を、みんなの手でよりよくしていきます。



力を合わせて頑張ります

前期生徒会委員長く学校を支えます

- 議長……………滝川 侑奈 (三の五)
- 生活委員長……………鈴木 那奈 (三の二)
- 緑化委員長……………石橋 路人 (三の四)
- 環境委員長……………早川 涼 (三の一)
- 保健委員長……………村田 蒼甫 (三の四)
- 体育委員長……………深谷 日陽 (三の一)
- 文化委員長……………野口 結希 (三の二)
- 給食委員長……………鶴見 那成 (三の四)
- 交通委員長……………中園 好誠 (三の四)
- 放送委員長……………吉見 花音 (三の五)
- 図書委員長……………彭 愛玲 (三の二)

学級代表くクラスをまとめます

- 一の一 杉浦 瑛汰 麓 結菜
- 二 三浦 輝来 吉尾 香音
- 三 当真 蓮 菱田 陽菜
- 四 彭 莉莎 松村 優翔
- 五 額瀨 晃 小城 紅映
- 二の一 石原 慈子 杉浦 陸斗
- 二 大平 莉々 本多 翔
- 三 近藤 悠人 松田 悠楓
- 四 伊藤 楓紗 鈴木 寛大
- 五 熊谷 晴 高須 心颯
- 三の一 村瀬 燈歩 吉田 彩
- 二 川瀬 尊琉 鈴木 愛子
- 三 原 脩裕 山本 桜
- 四 柴田 龍侍 中田 希実
- 五 伊藤駿之介 滝川 侑奈
- ひまわり学級
- 七・十一組 松見 理沙
- 八・十二組 岩原珠玲奈
- 九・十組 菅沼 皆人

2026年度 職員チーム

やる気・頑張り・思い合い よろしくお願ひします



令和八年度 PTA役員

今年度のPTA役員の方々
よろしくお願ひします！



副会長	木俣さつき
会計	都築 慎
会長	三浦 和也
副会長	天野 貴文
副会長	石原 和典
会計監査	山本 綾子

令和八年度はこの六名でスタートします。保護者がさらに参加しやすくなるように、新しい活動方法を推進します。生徒の幸せのために、さまざまな取り組みにチャレンジしていきます。

令和七年度 PTA役員



副会長	斎藤 孝志
副会長	本多かおる
副会長	天野 貴文
会長	近藤佳代子
会計	今井 俊輔
会計監査	平田 華代

生徒の笑顔のために、みなさんでよく話し合い、新しい方法を考えてくださいました。活気のある六名でした。おつかれさまでした。ありがとうございました！



1	水	
2	木	
3	金	初めての大正琴 無料体験会
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	PMきらりシニア塾(6/9受付分)
10	金	元気ハツラツ出張測定 <small>中学生以下 無料 大人300円</small>
11	土	子ども食堂 あーぶくたった ちび こ開放日
12	日	
13	月	
14	火	きらりシニア塾受付
15	水	
16	木	ちびっこ 夏まつり
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	ラジオ体操開始
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	キッズダンス
26	日	
27	月	夏休み課題チャレンジ 書道教室
28	火	
29	水	盆踊り&しりとりエーショ 子どもだけ食堂
30	木	AMきらりシニア塾(7/14受付分)
31	金	ちびっこ開放日 8/1まで

初めての大正琴 無料体験

日 時：7月3日(金) 12時~14時
 場 所：2階 機能訓練室
 講 師：山本 政子氏
 申込み：6月8日(月)9時~
 先着10名
 直接または電話
 ☆無い方貸出いたします



元気ハツラツ出張測定

日 時：7月10日(金) 13時30分~15時
 場 所：1階 みんなの活動広場
 内 容：血圧測定・体力測定
 (握力・5回立ち上がりテスト)
 ※直接会場にお越しください



親子でエコもの作り 大作戦

①廃油キャンドル作り ②海洋プラスチック工作
 日 時：7月11日(土) 10時~11時
 場 所：1階 みんなの活動広場
 参加費：一組200円
 申込み：6月11日(木)9時~
 ①②先着各10組 直接または電話
 ☆HIKARIGAOKA ESO CLUB

生活を整える

がんばらない片付け講座

講 師：木村 孝子氏(整理収納アドバイザー)
 日 時：7月11日(土) 11時~12時
 場 所：2階 多目的室
 参加費：500円
 申込み：6月25日(水)9時~先着10名
 直接または電話

ほしの車よむよむさんの 読み聞かせ

日 時：7月11日(土)
 13時30分~13時50分
 場 所：1階 フロア
 内 容：絵本・紙芝居・パネルシアター等



☆イベント情報2枚目に続きます



とほなす岡崎



とほなす岡崎

回覧

7月

豚

多世代交流イベント

参加無料

ちびっこ 夏まつり

場所:2階集会室

開催日時:7月16日(木) 10時~11時

対象:3歳以下の子どもとその親

☆手伝いの大人のかた 10名程度

申込み:6月25日(木)9時~ 先着25組

直接または電話で

ラジオ体操を

大人も子どもも一緒にやろう!

日時:7月21日(火)~8月1日(土)

9時15分から

場所:1階フロア

スタンプカードを配布します。

全日参加できたかたには皆勤賞があります。



キッズチアダンス

場所:2階集会室

開催場所:2階集会室

開催日時:7月25日(土)

13時30分~

★レクラのティンクチームのダンスです



小学生対象 夏休みの課題チャレンジ

夏休み 書道教室

日時:7月27日(月) 9時30分~

場所:1階研修室

対象:小学生

申込み:7月1日(水) 9時~

先着10名 直接または電話

持ち物:書道道具

※書く字は決まり次第連絡してください



参加無料

子どもから大人まで
みんなでやってみよう!

盆踊り & レクリエーション

7月29日(水) 10時スタート

会場:2階集会室

対象:子ども(3歳以上から大人まで
(親子・お孫さんと一緒に!))

持ち物:水分補給・室内履き

是非 浴衣・甚平お越しください

定員:15名程度

申込み:7月1日(水) 9時~

電話または直接



子どもだけ食堂

開催日時:7月29日(水)

11時30分~

場所:1階研修室

★中学生以下無料です

※大人のかたは利用できません。



夏休みのイベント 自由研究にもピッタリ! ECO ティーチャー講座

① 食べ物とゴミのさかい目はどこ?
~食品ロスをなくそう大作戦!~

7月30日(木) 10時30分~11時30分

両日とも

対象:小学生とその保護者 20組

申込み:7月9日(木)9時~電話または直接

※4年~6年生は小学生のみの参加可

参加費:無料

② 実験&コースターづくり
ポタポタ!スー!節水大作戦

7月31日(金) 10時30分~11時30分